

20世紀末、変わりゆくモンゴル
少女は草原を駆け抜けた

2007 キネマ旬報文化映画ベストテン 第3位
2007 韓国EBS国際ドキュメンタリー映画祭 グランプリ受賞

上映会

1999年秋。
探検家・関野吉晴は自在に馬を操る少女の凛々しい姿に惹かれ、
シャッターを切った。すると少女は、突然言い放った。
「写真撮るなら、こっちにこないで！」
出逢いは、こうして始まった。

プーjee

山田 和也 監督作品

2006年 / 日本映画 / 長編ドキュメンタリー / puujee 製作委員会

2026/ 9/24 日 18:30 - 20:30
(18:00 開場)

オホーツク・文化交流センター
エコセンター2000(エコホール)
[網走市北2条西3丁目 TEL 0152-43-3704]

入場無料 (整理券が必要です)

◆ 整理券配布場所 ◆

オホーツク・文化交流センター
フジヤ書店[網走市南4条東1丁目]
北方民族博物館

【問合せ】一般財団法人 北方文化振興協会

※都合により内容の変更や中止となる場合がありますのでご了承ください。

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1 北方民族博物館内 TEL 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

□主催／一般財団法人 北方文化振興協会・北海道立北方民族博物館 □後援／網走市、網走市教育委員会、網走市文化連盟

地球を歩くとき、こどもたちの笑顔に出会うほど嬉しいことはない。
私が惹かれたこどもたちに共通点があることを見つけた。
それは、自立心が強く、大人に媚びないということだ。

探検家・医師 関野 吉晴

あらすじ

1999年、探検家の関野吉晴は、南米最南端から人類誕生の地アフリカを目指す旅の途中モンゴルを訪れ、大草原を自在に馬で駆けるひとりの少女と出会う。思わずカメラを構えた関野に少女は言い放った。「写真撮るなら、こっちに来ないで!」少女はプージェーといった。当時6歳。自立心が強く、決して大人に媚びない態度に、関野は遊牧民の理想像を重ねてしまう。足繁く訪ねて来る関野をプージェーの家族は温かく受け入れてくれた。



それから続いた5年間の交流の中で、関野は変わり行くモンゴルの現実を目の当たりにする。

社会主義にかわって導入された市場経済は貧富の格差を生み、遊牧民にとっては致命的な家畜泥棒が横行し、プージェーの家もその犠牲になる。そして、大切な草原では市場価値の高いヤギの数を増やしすぎてしまったため、草が枯れ、モンゴルの家畜総数の10%が餓死してしまった。

そんな近代化の波に飲み込まれつつある家族を悲劇が襲う。
母の死、そして・・・

これは、時代の波に翻弄されるモンゴル遊牧民5年間の記録である。

pujee

第40回 北方民族文化シンポジウム 網走

〔第40回記念大会〕

人新世の北方文化研究

— 環境・先史・現代社会の視点から —

対面 &
オンライン開催

北方地域を含む世界各地がこれまでになく緊密に結びつくなか、地球規模の気候変動や国際情勢の変化は北方諸民族の文化にも多様な影響を及ぼしています。本シンポジウムでは、40回を記念し、北方文化研究の近年の成果と課題、今後の可能性について検討します。

日程 2026年10月17日(土)・18日(日) 各日 9:00-16:00 【参加無料】

会場 オホーツク・文化交流センター(エコセンター2000)大会議室

〔網走市北2条西3丁目 TEL 0152-43-3704〕

【北方民族文化シンポジウム、関連事業についての問合せ】

一般財団法人 北方文化振興協会 〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1 北方民族博物館内 TEL 0152-45-3888